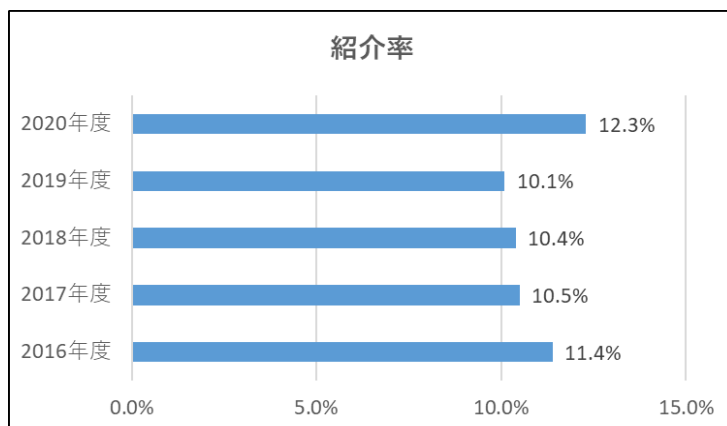


紹介率・逆紹介率

意義

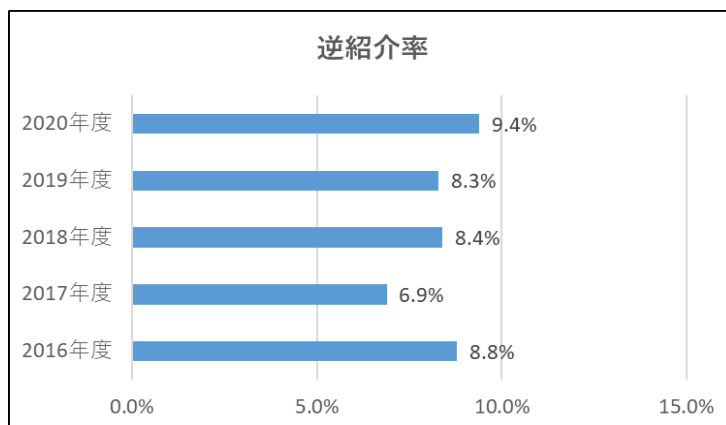
高度な医療を提供する医療機関にだけ患者さまが集中することを避け、症状が軽い場合は「かかりつけ医」を受診し、そこで必要性があると判断された場合に高い機能を持つ病院を紹介受診する。そして治療を終え症状が落ち着いたら「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携を強化し、切れ間のない医療の提供を行うことができる。紹介率・逆紹介率の数値は、地域の医療機関との連携の度合いを示す指標。



算出式

分子：病院または診療所から紹介状により紹介された患者数

分母：初診患者数



算出式

分子：病院または診療所への紹介状により紹介した患者数

分母：初診患者数